

少年に正しい海の知識を

会長には鳩飼康浩牛込漁協組合長

きさらぎ海洋少年団後援会 第十回総会開く

少年たちに海に親しみ、正しい海の知識を持ってもらおうと活動している「きさらぎ海洋少年団後援会」(会員三五人)の平成二十九年度『第十回総会』が、二十一日に木更津海上保安署・会議室で開催された。



先立ち、鳩飼康浩後援会長(牛込漁業協同組合長)の挨拶があり、来賓紹介後、議案審議に入り、平成二十八年度事業報告及び決算報告、平成二十九年度事業計画及び予算案を、全会一致で可決承認した。

続いて、来賓の小川義明木更津海上保安署長や米良信雄木更津港湾事務所長が、同後援会のますますの発展を祈念する祝辞を述べた。それに応じて、同海洋少年団の松本信夫団長が、「後援会は、平成十九年発足以来、今年で十二年目を迎える。団員は二十人弱だが、毎月二回の練習を行い、

指導員共々、ヨットやカッターの練習に励んでいる。また手旗などの基本動作や陸学・講話なども活発に実施。各漁業協同組合、港湾組合をはじめ、三十数社の後援をいただいている」などと挨拶した。また、日頃の練習や活動に対して同少年団父母会の滝口会長からお礼の挨拶があった。

前年度の活動・訓練としては、小型ヨット、双胴ヨット、手漕ぎボートの練習、小型ヨットの漕ぎ練習、小型ヨット・双胴ヨットの手旗練習、巡視艇まきかせ体験乗船、クルーザーヨット体験、うみ祭りの参加、内港公園清掃参加、餅つき、祝賀会、手漕ぎボート、双胴ヨット練習などが行われた。平成二十九年度の事業計画では、▽定例日訓練(原則毎月二回実施)、▽協賛活動(港まつり、うみ祭り、海浜清掃等への参画)、▽後援会会員のヨット、ボート体験会実施、▽近隣少年団との交流等を予定している。

同後援会の今年度の役員は次の通り。
 ▽会長 鳩飼康浩(木更津市六漁協連絡協議会・牛込漁業協同組合代表理事組合長)
 ▽副会長 井上昭彦(新日鐵住金(株)君津製鐵所所長)、松本信夫(株)キミツ 鐵構建設会長
 ▽幹事 松田紀道(千葉県内航海運組合理事長、木更津港港灣運送事業協同組合理事長)、

前田亮(木更津港運協 会会長)、禰田一元(日鐵物流君津(株)代表取締役)、三富修一(海洋興業(株)君津支店支店長)、渡部俊一(東亜建設工業(株)南総工事業務所所長)、藤井俊樹(木更津港富津航路協議会海事次長)、中野春夫(公益財団法人海上保安協会木更津支部次長)、杉山昌成

(株)エイコム千葉木更津島島長)
 ▽監事 川名則男(株)堀江商店木更津営業所所長)
 ▽事務局 大島博(セントラル(株)常務取締役)

▽顧問 小川義明(木更津海上保安署署長)、米良信雄(木更津港湾事務所所長)
 (敬称略)

(写真は総会後、後援会の役員や総会出席者連)